

# siroca crossline

## スロージューサー

## SSJ-201

# 取扱説明書

保証書つき



このたびは siroca crossline スロージューサー SSJ-201 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

お使いになる前に

安全上のご注意 ..... 2

各部のなまえ ..... 4

組み立て ..... 5

使いかた ..... 8

お手入れ ..... 13

故障かなと思ったら ..... 15

仕様 ..... 16

部品・消耗品 ..... 16

アフターサービス ..... 17

お客様相談窓口 ..... 17

保証書 ..... 20

1つ愛用の手引き

この製品は家庭用です。  
業務用にはお使いにならない  
ください。

日本国内専用  
USE ONLY IN JAPAN

# 安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

## ●表示の説明

	<b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	<b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

## ●図記号の説明

					禁止（してはいけない内容）を示します。
					強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

## 警告



**分解禁止**  
分解、修理や改造を絶対に行わない  
発火・感電・けがの原因になります。  
修理は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンター  
にご相談ください。



**禁止**  
子どもだけで使わせたり、乳幼児の手の届く  
ところで使わない  
やけど・感電・けがの原因になります。



**水ぬれ禁止**  
本体ベースを水につけたり、水をかけたり  
しない  
ショート・感電・故障の原因になります。



**禁止**  
本体ベースや、ドラムなどの部品を落としたり、  
衝撃を加えたりしない  
感電・故障の原因になります。



**禁止**  
運転中にドラムキャップを開けたり、投入口に  
指・はし・スプーンなどを入れたりしない  
けが・故障の原因になります。



**禁止**  
髪の毛や衣服のひも、アクセサリーなどを  
投入口に近づけない  
スクリューに巻き込まれて、けがの原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用  
を中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・  
感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、  
損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭  
いにおいがする
- ・ドラムなどの部品がひび割れなどで、損傷している  
など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグ  
をコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊  
社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。



**禁止**  
ドラムキャップやドラムを持って製品を移  
動しない

けがの原因になります。製品を移動するときは、本体ベース  
とドラム、ドラムキャップは分けて持ち運んでください。

## ◆ 電源コード・電源プラグについて ◆



**ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない**  
感電・けがの原因になります。



**禁止**  
電源コードが傷んでいたたり、コンセントの  
差し込みがゆるいときは使わない  
感電・ショート・発火の原因になります。



**禁止**  
電源コード・電源プラグを破損するよう  
なことはしない  
電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、  
感電・ショート・火災の原因になります。  
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、  
ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む など



**!**  
定格 15A 以上・交流 100V のコンセント  
を単独で使う  
たこ足配線などで他の器具と併用すると、分岐コンセ  
ント部が異常発熱して火災・感電・故障の原因になります。



**!**  
電源プラグは根元まで確実に差し込む  
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因に  
なります。



**!**  
電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付  
着したほこりは拭き取る

ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



**!**  
電源プラグを抜くときは、電源コードを持  
たずに必ず電源プラグを持って引き抜く  
感電やショートによる発火の原因になります。



**!**  
「停止/逆転」スイッチを押して、運転が停  
止していることを確認してから、電源プラグ  
を抜き差しする  
けがの原因になります。



**!**  
部品の取り付け・取りはずし・お手入れをする  
ときは必ず電源プラグをコンセントから抜く  
感電・けがの原因になります。



**!**  
使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く  
使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてくだ  
さい。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグ  
を抜いていることを確認してください。絶縁劣化による  
感電・漏電・火災の原因になります。

# 警告

## ◆ 設置に関する注意事項 ◆



不安定な場所では使わない  
転倒によるけが・故障の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。  
テーブルクロス、ビニール、紙、おぼん など



屋外で使わない  
ほこりや虫などの混入・故障の原因になります。



ストーブやガスコンロなど熱源・火気のそばで使わない  
変形・故障の原因になります。



壁や家具などの近くで使わない  
壁や家具などの汚れ・変色の原因になります。



水ぬれ禁止

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない  
ショート・感電・故障の原因になります。



直射日光が当たる場所で使用、保管しない  
変色・故障の原因になります。

# 注意

## ◆ 使用上の注意事項 ◆



柿・桃の種や、生の米など、固いものを調理しない  
故障の原因になります。



運転中に部品の取りつけ・取りはずしをしない  
けが・故障の原因になります。



使用中に本体を移動しない  
転倒により、けが・故障の原因になります。



食材が多すぎるなどの原因で運転が止まった場合は、すぐに「停止／逆転」スイッチを押して運転を停止して、食材を減らしてから再度運転する  
故障の原因になります。



部品は必ず専用のものを使う  
異なる製品の容器やスクリューなどをお使いになると、部品の破損による調理物への混入・けがの原因になります。



調理以外の目的では使わない  
故障の原因になります。



定格時間（15分）を超えて連続運転をしない  
15分以上お使いになる場合は、30分以上休ませてから運転してください。故障の原因になります。



本製品は家庭用のため、業務用として使わない  
故障の原因になります。



一度に大量の材料を投入しない  
カラ（食材なし）の状態でも30秒以上運転しない  
故障・破損の原因になります。  
食材は、少しずつ、ゆっくり入れてください。



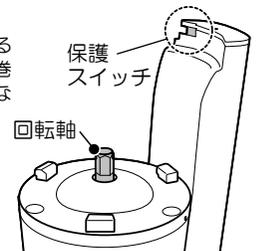
45℃以上の温度で洗浄したり、食器洗い乾燥機、食器乾燥機を使わない  
故障・変形の原因になります。



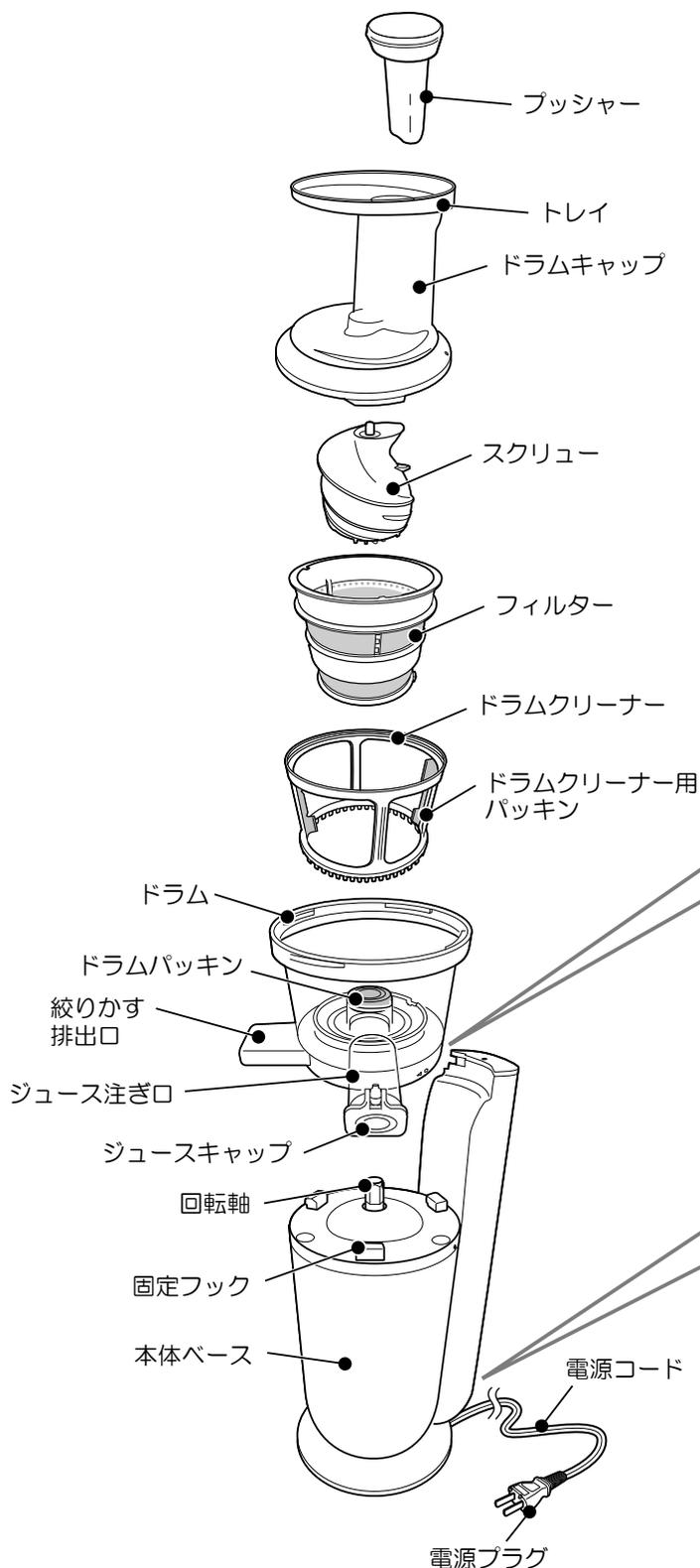
スクリューの回転が完全に止まるまでドラムキャップを開けない  
使用中に材料が詰まった場合は、必ず「停止／逆転」スイッチを押して運転を停止して、スクリューの回転が止まってからふたを開けてください。材料のふきこぼれ・けが・故障の原因になります。



本体ベースの保護スイッチを細い棒などで押さない  
電源プラグを差し込んでいる場合、回転軸が回転して、巻き込みによるけがの原因になります。

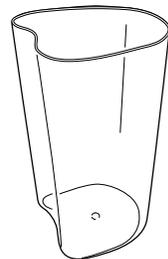
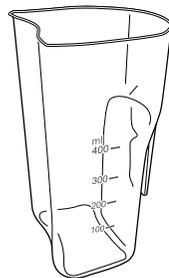


# 各部のなまえ



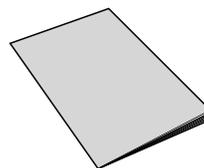
## 付属品

ジュースカップ      絞りかすカップ

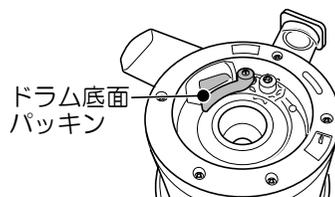


レシピブック

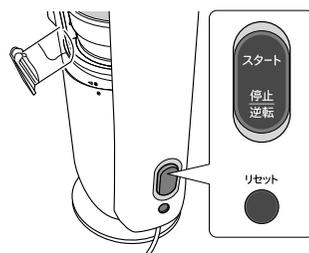
掃除ブラシ



### ドラム底面



### 電源スイッチ



スタート	順回転	運転を開始します。
	停止	順回転で運転中に一回押すと、運転が停止します。
停止 逆転	逆回転	スイッチを押している間、逆回転で運転します。スクリューやドラム内部に食材が詰まったときなどに押します。
	リセット	保護機能による自動停止状態を解除するときに押します。

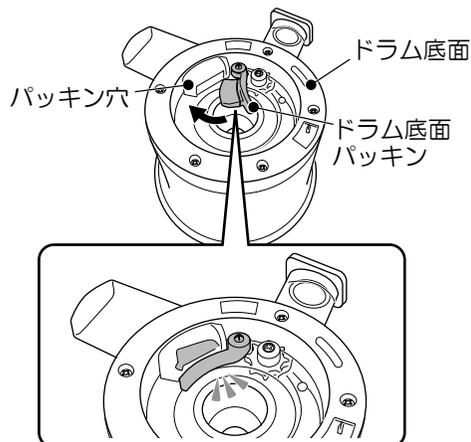
# 組み立て



※ はじめてお使いになるときは、本体ベース以外の部品をスポンジと台所用中性洗剤を使ってよく洗ってから組み立ててください。  
⇒ 部品の洗いかたについては、13ページの「お手入れ」を参照してください。  
※ 組み立てを開始する前に、電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。

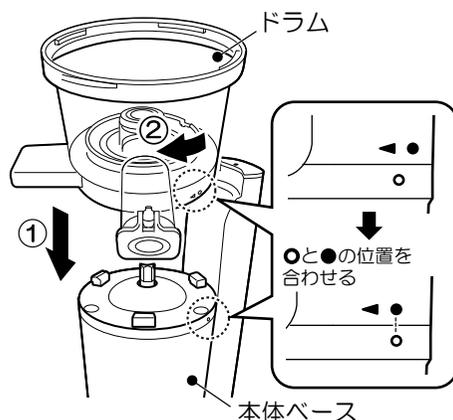
## 1 ドラム底面パッキンをパッキン穴に差し込む

- ドラム底面パッキンは、奥までしっかり差し込んでください。ジュースがもれる原因になります。



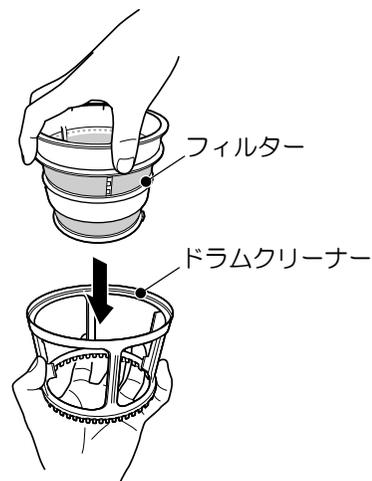
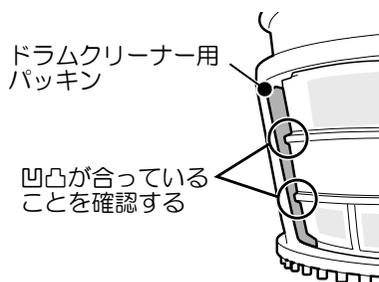
## 2 ドラムを本体ベースに取りつける

- ① ドラム側面の◀ ●マークと、本体ベース側面の●マークの位置を合わせて、ドラムを本体ベースにのせる
- ② 右図のようにドラム側面の●マークと本体ベース側面の○マークの位置が合うところまで、ドラムを時計回りに回す



## 3 フィルターをドラムクリーナーに取りつける

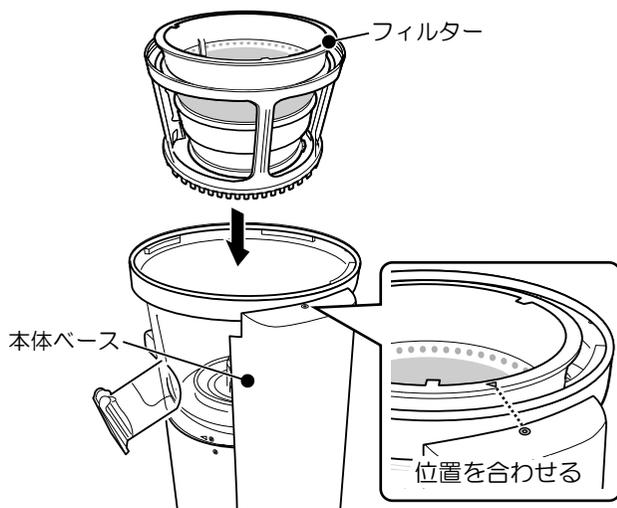
- フィルターを、上からねじ込むようにして、ドラムクリーナーに取りつけてください。
- フィルターとドラムクリーナー用パッキンの凹凸が合っていることを確認してください。



# 組み立て

## 4 手順3で組み立てたフィルターをドラムに取りつける

- フィルターの▼マークと、本体ベースの○マークの位置を合わせて取りつめます。
- フィルターが、ドラムにしっかりと固定されていることを確認してください。

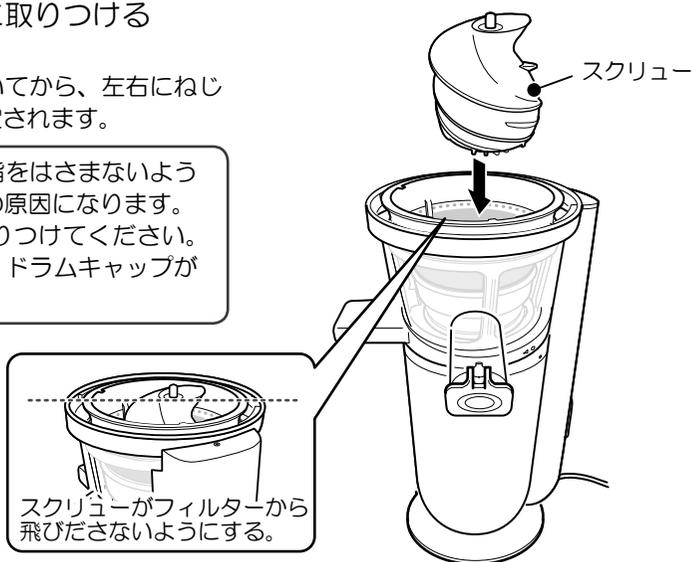


## 5 スクリューをフィルターの中央に取りつける

- スクリューをフィルターの中央に置いてから、左右にねじるように押し込むと、しっかりと固定されます。



※ スクリューを置くときは、指をはさまないように注意してください。けがの原因になります。  
※ スクリューはしっかりと取りつけてください。正しく固定されていないと、ドラムキャップが開まりません。

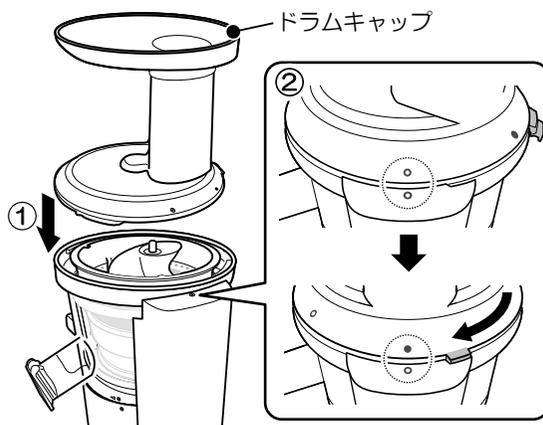


## 6 ドラムキャップをドラムに取りつける

- ① 本体ベースとドラムキャップの○マークの位置を合わせて、ドラムにドラムキャップをのせる
- ② ドラムキャップの●マークが、本体ベースの○マークの位置に合うまで、ドラムキャップを時計回りに回して固定する



※ ドラムキャップの●マークと、本体ベースの○マークの位置をしっかりと合わせてください。ドラムキャップが正しく取り付けられていないと、モーターが運転しないしくみになっています。



## 各部品の取りはずしかた

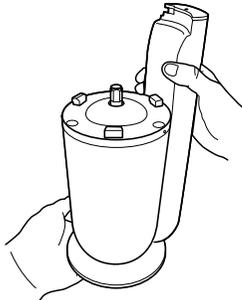
使用後やお手入れの際は、下記の手順で部品を取りはずします。  
製品を持ち運ぶときも本体ベースから部品を取りはずし、分けて持ち運んでください。



※ 本体ベースにドラムやドラムキャップを取りつけたまま、持ち運ばないでください。ドラムなどが落下し、けがや故障の原因になります。

- ① 電源プラグをコンセントから抜く
- ② ドラムキャップを反時計回りに止まるまで回す
- ③ ドラムキャップをドラムから取りはずす  
※ 本体ベースを押さえながら、ドラムキャップを持ち上げます。
- ④ ドラムを本体ベースから取りはずす  
※ 本体ベースを押さえながら、ドラムを持ち上げます。  
※ ドラムがうまく取りはずせないときは、ドラムを反時計回りに軽く回して、本体ベースの固定フックからはずしてから持ち上げます。
- ⑤ 各部品を取りはずしたら、下図のように分けて持ち運ぶ

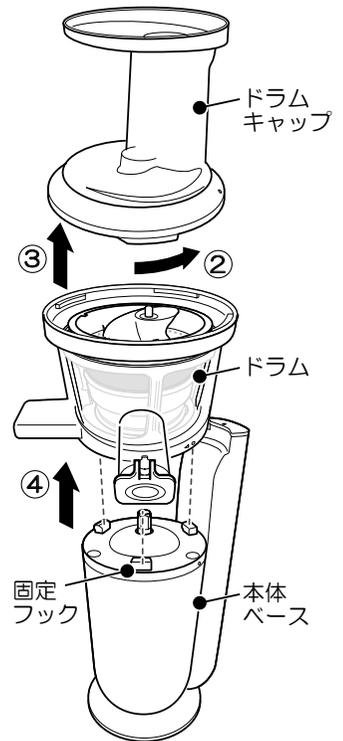
本体ベース



ドラム



ドラムキャップ



# 使いかた

## できること（例）

- ・果物や野菜と水分を混ぜ合わせて、フレッシュジュースやスープを作る
- ・水につけた大豆をすりつぶして、豆腐を作る

## 調理できない食材

- ・肉類、魚類、穀物類
- ・粘り気の強い食材（やまといも・モロヘイヤ・おくら・ジャム・納豆など）
- ・固い食材（乾燥大豆、柿や桃などの種）
- ・氷、冷凍した食材
- ・乾燥食材（かつおぶし・乾燥したきのこ・干しえび・昆布など）
- ・加熱していないかぼちゃ、ごぼう
- ・油分の多い食材（クルミやアーモンドなど）※水にひたしておくで搾れます。



- ※ 食材によって、ジュースと絞りがすに分かれず、絞りがすがフィルター内部に残ることがあります。
- ※ 水煮した大豆などの食材を調理した後は、ドラムが取りはずしにくくなることがあります。
- ※ バナナ、キウイ、いちごなどの果物は、果肉成分が絞りがすの方に多く含まれることがあります。
- ※ 食材によっては、ジュースが分離することがあります。
- ※ 食材の鮮度や収穫時期によって、搾り出されるジュースの量が変わります。
- ※ 食材によっては、ジュースの中に絞りがすが混ざる場合があります。

## 食材を準備する

スロージューサーを使う前に、食材の下ごしらえをします。食材ごとの下ごしらえの方法は、下記の表を参照してください。

### 果物類

材 料	下ごしらえ	調理のポイントと知識
みかん、オレンジ、グレープフルーツ、レモン、ゆずなどのかんきつ類	皮をむいて、房ごとか適当な大きさに切り分けます。種を取る必要はありません。	—
りんごなどの皮ごと搾れる果物	よく洗って、へたや芯を取り、くし切りにします。皮を取る必要はありません。	りんごなど褐色しやすい果物は、ジュースにした後、色が変わります。
バナナ、キウイ、アボカド、桃などの皮をむいて搾る果物	皮をむいて、3～4cm角に切ります。アボカドや桃は種を取ります。	果物成分が絞りがすの方に多く含まれてしまうので、牛乳などの水分と一緒に投入すると、よく搾れます。
パイナップルなどの固い芯のある果物	皮と芯を取りのぞき、3～4cm幅のいちよう切りにします。	とろみが出るため、召し上がる前によくかき混ぜます。
メロン、スイカ	皮をむいて、適当な大きさに切り分けます。種やワタを取る必要はありません。	—
ぶどう	よく洗って、房から取りはずします。	—
いちご	よく洗って、へたを取り、適当な大きさに切り分けます。	—

## 野菜類

材 料	下ごしらえ	調理のポイントと知識
アスパラ、小松菜、キャベツ、セロリ、レタス、ケールなどの葉菜類	よく洗って、3cm 幅（キャベツは 3cm 角）に切ります。	スクリューに絡まり、詰まりやすいため、少量ずつゆっくり投入します。 食材を組み合わせるジュースを作る場合は、交互に投入してください。 せんいの多い食材は、水分の多い食材（りんごやにんじんなど）と一緒に投入すると、よく搾れます。
にんじん、しょうがなどの固い野菜	にんじんはよく洗って、へたや葉を取り、長さ 5cm、1.5cm 角のスティック状に切ります。 しょうがはよく洗って、1cm 程度の輪切りや 2cm 角に切ります。	水分の少ない食材は、絞りが多くなります。
パセリ、ブロッコリー	投入口に入る程度の小房に分けます。	—
大根、トマト、パプリカなど	よく洗って、へたを取り、適当な大きさに切り分けます。	—

## その他の食材

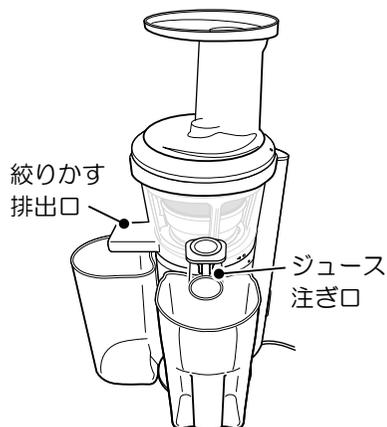
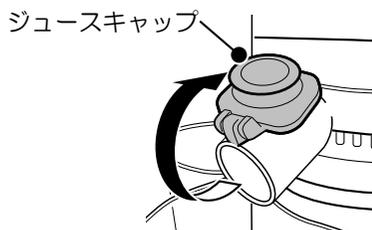
材 料	下ごしらえ	調理のポイントと知識
大豆、アーモンド	よく洗って、一晩水につけます。	水などの水分と一緒に搾ります。
ゆでた野菜	適当な大きさに切り分けます。	牛乳などの水分と一緒に投入すると、よく搾れます。

# 使いかた

## スロージューサーを使う

### 1 ジュース注ぎ口と絞りかす排出口に、ジュースカップと絞りかすカップを置く

- ジュースカップをジュース注ぎ口の下に、絞りかすカップを絞りかす排出口の下に置きます。
- ジュースカップと絞りかすカップの凹み部分を本体ベースに合わせます。
- ジュース注ぎ口のジュースキャップを開けます。



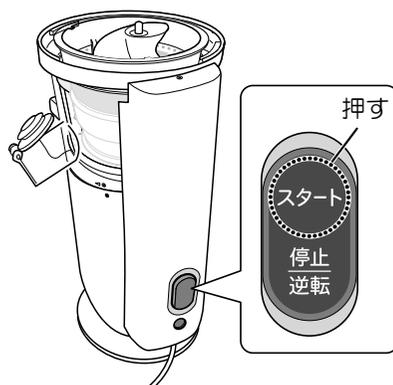
### 2 電源プラグをコンセントの奥まで確実に差し込む

### 3 「スタート」スイッチを押す

- 運転が開始します。



- ※ ぬれた手で電源スイッチを操作しないでください。感電やショート、火災などの原因になります。
- ※ 電源スイッチ周辺に物を置かないでください。誤操作により、けがや故障の原因になります。
- ※ 食材を入れない状態で、30秒以上運転しないでください。故障・破損の原因になります。



### 4 下ごしらえした食材を、少しずつ、ゆっくりトレイの投入口に入れる (5秒間で1個程度のペース※りんごの場合)

- 食材の下ごしらえについては、8ページの「食材を準備する」を参照してください。
- ジュース注ぎ口からジュースが、絞りかす排出口から食材の絞りかすが出ます。
- 食材を組み合わせるジュースを作る場合は、交互に投入してください。



- ※ 一度に大量の食材を投入しないでください。食材が本体内部で詰まり、故障の原因になります。
- ※ 柿や桃の種などの固い食材は投入しないでください。故障の原因になります。調理できない食材については、8ページの「調理できない食材」を参照してください。



## 食材が詰まった場合

食材が詰まったり、空回りしている場合は、次の手順で解消してください。

- ①「停止／逆転」スイッチを2～3秒間押し続けて逆回転させる
- ②再度「スタート」スイッチを押す

※上記の①～②を数回くり返しても詰まりや空回りが解消しない場合は、「停止／逆転」スイッチを1回押し続けて運転を停止し、ドラムキャップを開けて、詰まった食材を取りのぞいてください。



※逆回転で運転しているときは、必ずドラムキャップをしっかり押さえてください。食材が逆流して、キャップを持ち上げることがあります。



### 保護機能について

「停止／逆転」スイッチを押し続けても、逆回転が開始されない場合は、本体内部のモーターに負担がかかり、保護機能により運転が自動停止しています。

本体ベースが熱くなっている場合は、本体ベースの温度が十分に下がるのを待ってから、以下の手順で運転を復帰してください。

- ①「停止／逆転」スイッチを1回押し続けて、運転を停止する
- ②リセットボタンを押す
- ③「停止／逆転」スイッチを2～3秒間押し続ける
- ④ドラムキャップを開けて、詰まった食材を取りのぞく
- ⑤ドラムキャップを再び取りつけて、運転を再開する

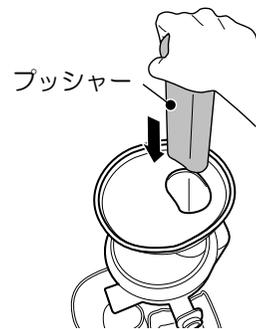
## プッシャーの使いかた

プッシャーは、葉菜類など、投入口に落としにくい食材を押し込むために使います。

- プッシャーを投入口に入れて、食材をスクリューに落とし込んでください。



※大量の食材を一度に押し込むために、プッシャーを使わないでください。故障の原因になります。  
※プッシャー以外の棒やはしなどを、投入口に入れないでください。けがや故障の原因になります。



# 使いかた

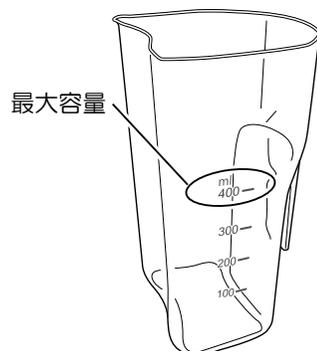
## 5 手順4をくり返して、残りの食材を投入口に入れる



※ 15分を超えて連続運転しないでください。15分を超えて運転する場合は、30分以上休ませてからお使いください。故障の原因になります。

※ ジュースカップの400mLの目盛を超えて、ジュースを入れないでください。400mLを超える場合は、「停止／逆転」スイッチを1回押して運転を停止し、別の容器にジュースを移してから、調理を再開してください。

※ 絞りかすカップに絞りかすがあふれる前に、「停止／逆転」スイッチを1回押して運転を停止し、絞りかすを別の容器に移してから、調理を再開してください。



## 6 調理が終わったら、「停止／逆転」スイッチを1回押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く

- 運転を停止するには、「停止／逆転」スイッチを1回押します。「停止／逆転」スイッチを押し続けると、逆回転で運転を開始するためご注意ください。
- 使い終わったらお手入れしてください。  
⇒ お手入れについては、13ページの「お手入れ」を参照してください。

横から見たところ



## 7 ジュースをほかの容器に移す

- ジュースカップの角にある注ぎ口から注ぐと、水切れがよく、こぼさずにジュースを移すことができます。
- ジュースカップの目盛はめやすです。計量カップとしては使えません。
- 果物や野菜の絞りかすは、お料理にお使いいただくこともできます。
- 食材によっては、絞りかすがジュースに混じることがあります。



# お手入れ

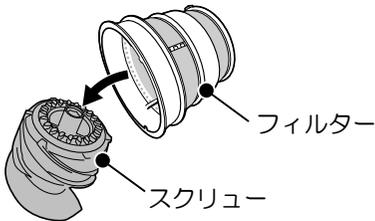


- ※ 必ず、電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてからお手入れをしてください。感電・やけど・けがの原因になります。
- ※ 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面を傷つける原因になります。
- ※ 食材の色素によって、各部品が変色することがありますが、使用上問題ありません。使用後は、早めにお手入れしてください。

## 本体ベース以外の部品

### 1 組み立てと逆の手順で、部品を取りはずす

- スクリューは、フィルターを逆さにすると、簡単に取りはずせます。

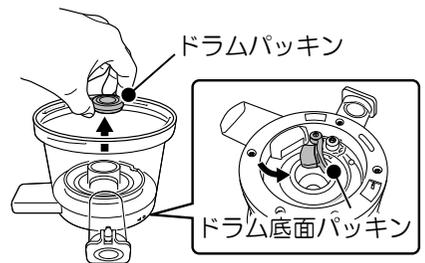


- ドラムクリーナー用パッキンは取りはずして洗えます。14ページの「ドラムクリーナー用パッキンのつけはずし」を参照してください。



### 2 ドラムから、ドラムパッキンとドラム底面パッキンを取りはずす

- ドラム底面パッキンはパッキン穴から引き抜きます。ドラムからは取りはずしません。

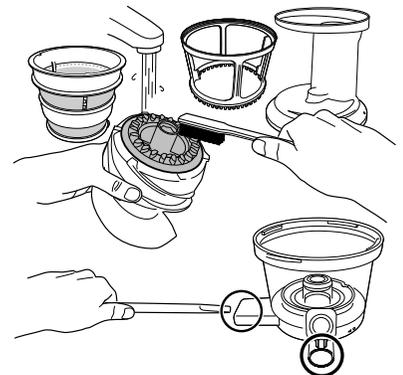


### 3 本体ベース以外の部品をよく水洗いする

- やわらかいスポンジなどを使って洗います。汚れが落ちにくい場合は、台所用中性洗剤を使います。
- フィルターと、スクリューの裏面は、付属の掃除ブラシで優しくこすります。
- ドラムのジュース注ぎ口と、絞りがす排出口にたまった汚れは、掃除ブラシの柄の部分でかき出します。
- つけ置き洗いはしないでください。



- ※ 45℃以上の熱湯や、食器洗い機を使って洗わないでください。部品が変形し、故障の原因になります。



# お手入れ

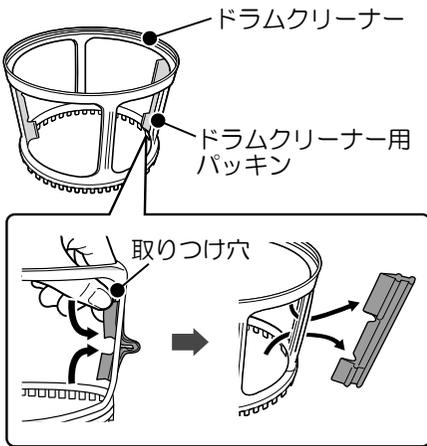
## 4 乾いた布で水気を拭き取り、よく乾かす

### ドラムクリーナー用パッキンのつけはずし

ドラムクリーナー用パッキンをはずした場合は、はずしたままにせず、必ずドラムクリーナーに取りつけて、なくさないようにしてください。

#### ドラムクリーナー用パッキンのはずしかた

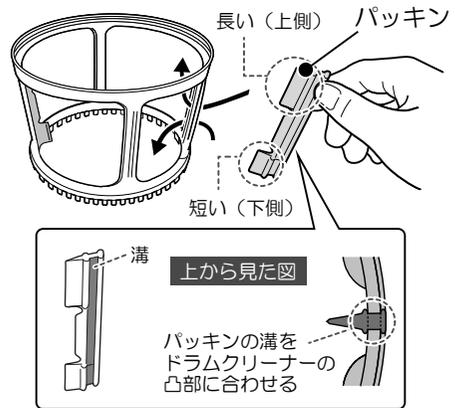
矢印の方向に、パッキンの上下を押し出して、取り付け穴の中央部から取りはずす



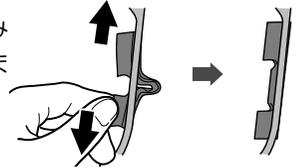
※ お手入れなどでドラムクリーナー用パッキンをはずした場合は、必ず元の位置に取りつけてください。故障の原因になります。

#### ドラムクリーナー用パッキンの取り付けかた

- ① ドラムクリーナー用パッキンの上下の溝を、取り付け穴の中央部に差し込む  
※ ドラムクリーナー用パッキンは上下の向きが決まっています。必ず図の向きで差し込んでください。



- ② パッキンを、たるみがないように両端まで広げる



## 本体ベース

## 1 やわらかいふきんで拭く

- 汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに台所中性洗剤を含ませて拭き取ってください。



## 2 乾いた布で水分を拭き取り、よく乾かす



※ 本体ベースは、モーターが内蔵されているため、丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。ショート・感電・故障の原因になります。

# 故障かなと思ったら

こんなときは故障ではありません。  
修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認くださいこと	直し方	参照ページ
運転しない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。	—
	「スタート」スイッチは押されていますか。	「スタート」スイッチを押してください。「停止／逆転」スイッチは押している間だけ運転（逆回転）します。	4・10
	部品が正しく組み立てられていますか。	各部品を正しく組み立ててください。部品が正しく取り付けられていないと、「スタート」スイッチを押してもモーターが運転しないしくみになっています。	5・6
	本体ベースが熱くなっていませんか。	保護機能が働いています。11ページの「食材が詰まった場合」の「保護機能について」を参照して、運転を再開してください。	11
ドラムと本体ベースのすきまからジュースがもれる。	ドラムパッキン、ドラム底面パッキンが正しく取り付けられていますか。	パッキンを正しく取りつけてください。	5
本体が熱くなる。	定格時間を超えて使用していませんか。	定格時間（15分）内で使用してください。15分を超えて使用する場合は、30分以上休ませてから使用してください。	—
途中で運転が止まる。	食材を入れすぎていませんか。	食材は少しずつ投入口に入れます。一度に食材を多く入れすぎた場合は、「停止／逆転」スイッチを1回押して運転を停止し、ドラムキャップ・ドラムを本体ベースからはずして、ドラム内の食材を減らしてください。	10・11
	固い食材を入れていませんか。	「停止／逆転」スイッチを2～3秒押してから、「スタート」スイッチを押してください。それでも運転が止まる場合は、使用を中止し、ドラムキャップ・ドラムを洗浄してから、もう一度お使いください。	10・11・13
	本体ベースが熱くなっていませんか。	保護機能が働いています。11ページの「食材が詰まった場合」の「保護機能について」を参照して、運転を再開してください。	11
ドラムキャップが開かない。	ドラム内に食材が詰まっていませんか。	「停止／逆転」スイッチを30秒ほど押してから離し、運転が停止したことを確認してから、ドラムキャップを開けてください。	—
ドラムキャップが閉まらない。	フィルターとスクリューは正しく取り付けられていますか。	フィルターやスクリューをドラム内に正しく取りつけてください。	5・6
運転中に音がする。	食材によって、モーターやスクリューから大きな音が出る場合がありますが、故障ではありません。		—
ジュースが出ない。	水分の少ない食材を入れていませんか。	「停止／逆転」スイッチを2～3秒押してから、「スタート」スイッチを押してください。それでもジュースが出ない場合は、水や牛乳などの水分を足してください。	—
	絞りがすが詰まっていますか。	11ページの「食材が詰まった場合」を参照して、絞りがすの詰まりを解消してください。	11
運転中に、ドラムやドラムキャップがずれる。	本体の負荷を軽減するために、運転中にドラムやドラムキャップがずれることがありますが、故障ではありません。		—

故障かなと思ったら

# 仕様

品名（型番）	スロージューサー（SSJ-201）
回転数（約）	65 回転 / 分（定格負荷時）※投入する食材や電源電圧などにより変わります。
定格時間	連続（15 分間運転※）
サイズ（約）	幅 18.2 × 奥行 17.3 × 高さ 43.1cm
本体重量（約）	スロージューサー：3.4kg
電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
消費電力	150W（定格負荷時）※投入する食材や電源電圧などにより変わります。
コード長（約）	1.4m
付属品	掃除ブラシ、ジュースカップ、絞りかすカップ、レシピブック
生産国	中国

※ 15 分以上連続使用する場合は、一度 30 分程度停止させてください。



この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国ではお使いになれません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

## 部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまった時は、お買い上げの販売店でお買い求めください。  
または、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。（「※」がついている部品は消耗品のため、保証期間内でも有料とさせていただきます。）

品名	部品コード
掃除ブラシ（※）	SSJ-201CB
ジュースカップ	SSJ-201JC
絞りかすカップ	SSJ-201FC
レシピブック	SSJ-201RB
フィルター（※）	SSJ-201FT
ドラムクリーナー（※）	SSJ-201DC
ドラムクリーナー用パッキン（2個セット）（※）	SSJ-201DP
ドラム	SSJ-201DM

### 長年ご使用の全自動 スロージューサーの点検を!

※ 定期的に「安全上のご注意」や「使いかた」を確認してお使いください。  
誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。  
※ 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

### お客様の個人情報のお取り扱いについて

- ・ シロカ株式会社（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残す事があります。
- ・ 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
  - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
  - (b) 法令の定める規定に基づく場合

# アフターサービス

## 保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

## 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から1年未満）の修理  
保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から1年以上）修理  
修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

## 保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

## 補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

## 補修用性能部品の最低保有期間

このスローユーザーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後7年です。その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

## 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

# お客様相談窓口

- 修理、使いかた、お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記へご連絡ください。

〈siroca サポートセンター〉 電話： ナビダイヤル  0570-001-469  
※上記番号がご利用いただけない場合 03-3234-8800  
受付時間：10時～17時（土・日・祝祭日、弊社指定休業日を除く）  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5階  
メールでのお問い合わせ：ホームページアドレス <http://siroca.co.jp/> ※「お客様サポート」のページからお入りください。

- 消耗部品・別売品は、siroca サポートストアからもご注文いただけます。

〈siroca サポートストア〉 <http://siroca.jp/> ※商品により、お取り扱いがない部品がございます。サポートセンターまでお問い合わせください。

## サポートセンターからのお願い

- ・ 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- ・ 時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
- ・ サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

## siroca の最新情報はこちらでチェック！

 siroca公式  
Facebook(フェイスブック)  
<http://www.facebook.com/siroca.jp>

 チームsirocaのブログ  
<http://ameblo.jp/siroca/>

 sirocaサポートストア  
<http://siroca.jp/>